

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①白波瀬佐和子編『東大塾 これからの日本の人口と社会』 東京大学出版会 (2019年1月, ix+292頁, A5判)</p> <p>高齢化といえば、労働力不足、若年人口の減少、社会の非活性化といった否定的なイメージが付きまとう。若年層と高齢者との関係は世代間格差が強調される。一方で、人々は従来以上に健康に長生きするようになる超高齢社会を迎えている。編者らはこうした社会を積極的にとらえ、リスクをチャンスとみなす「成長型の超高齢社会」を構想。最も高齢化した社会・日本が提示する新たな未来社会のモデルはどういったものなのか。働き方改革や社会保障制度の見直しなど高齢化に関連する最先端の研究動向を分析しながら問題にアプローチしていく。本書は東京大学グレーター東大塾の講義をもとに構成。玄田有史、大沢真知子氏ら10人の学識者の講義を誌上に再現している。</p>	<p>③鹿嶋敬著『なぜ働き続けられない?』岩波書店 (2019年1月, x+244頁, 新書判)</p> <p>「働く女性は雇用者全体の半数近いのに、本人が望んでも働け続けられないのはなぜなのか」と本書は問う。なぜ女性の非正規雇用が多いのか。育児休業、介護の問題などで悩む女性が多いのはなぜか。政府が一億総活躍社会を掲げ、女性の活躍が注目を集めるなかにあっても、女性の就労問題を難しくしている理由の一つは「固定的な性別役割分担」という名の壁の厚さだという。著者はこの古くて新しい問題の解決抜きには、男女共同参画社会の形成、女性活躍社会の推進はあり得ないと見る。男性と違って仕事と家庭を同列に置き、両者にどうかかわるかで悩んだり苦しんだりする女性。本書は、いまこそ男女双方で「自らの意思」が尊重される社会をつくるべきだと主張する。</p>
<p>②大内伸哉著『会社員が消える』文藝春秋 (2019年2月, 239頁, 新書判)</p> <p>あらゆる情報がデータ化される時代。ビジネスモデルは短期で変わり、多くの業務はAIが担う。職場では長期雇用の「会社員」は減り、専門性を持った人材が会社に属さず働く。短期的な技術の進歩さえ容易に見通せない時代になると、将来の人員構成をどうするかの見極めも困難。個人はどのようなスキルを習得し、そのためにどんな訓練を受けるべきか、といったキャリア形成の方針も立てづらい。このため、著者は今後、AIやロボットが導入された後、まず初めに起こるのは「ゼネラリストが(自分の専門とする職業を持つ)プロ人材になるよう求められるケース」とみる。その先には会社員の雇用のパイが減り、フリーで働かざるを得ない雇用社会が到来すると見込む。</p>	<p>④松井知子他編『職場ではぐくむレジリエンス』金剛出版 (2019年2月, 239頁, A5判)</p> <p>新聞や雑誌で最近、レジリエンスという言葉をよく見かける。本書によれば、その意味は「しなやかな心」。挫折や困難な状況などを経験したのちに、元の状態まで回復し、その経験を糧にいっそう人間として成長し、より健康で生産的な状態になるスキルをいう。本書はこうした能力を職場でいかにはぐくむべきか、働き方改革、ストレスチェックなどを踏まえ、その理論から実践までを解説。とくに働き方改革との関連では、1990年代から浸透してきたEAP(復職支援プログラム)を紹介し、健康状態が不調な人を助けるだけでなく、環境の変化への対応ができ、心身ともに健康な従業員を増やすのに活用できる内容であるとし、レジリエンス育成策の一例として着眼。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2019年3月—4月労働図書館受け入れ)

- ⑤佐々木啓著『「産業戦士」の時代』大月書店(320+iii頁, A5判)
- ⑥高橋信弘編著『グローバル化の光と影』晃洋書房(xii+248頁, A5判)
- ⑦岩下広文著『人事コンサルタントが教える生産性アップにつながる「50」の具体策』中央経済社(viii+207頁, A5判)
- ⑧清水正道編著『人を活かし組織を変える』経団連出版(267頁, A5判)
- ⑨労働政策研究・研修機構編著『カンボジアの労働・雇用・社会』労働政策研究・研修機構(ix+294頁, A5判)
- ⑩小島典明著『現場から見た労働法』ジヤース教育新社(342頁, 四六判)
- ⑪東京弁護士会親和会編著『こんなところではつまらない!労働事件21のメソッド』第一法規(7+207頁, A5判)
- ⑫働き方改革研究会著『60分でわかる!働き方改革超入門』技術評論社(159頁, 四六判)
- ⑬速水洋子著『東南アジアにおけるケアの潜在力』京都大学学術出版会(ix+586頁, A5判)
- ⑭辻和洋編著『データから考える教師の働き方入門』毎日新聞出版(237頁, A5判)

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書124,704冊、洋書32,563冊、和洋の製本雑誌26,719冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(244種)、洋雑誌(139種)、紀要(502種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30 ~ 17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

